



防災だより 危機管理室 自主防災組織！活動中！！

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響より町全体で行う防災訓練は中止となりましたが、各自主防災組織で実施された防災訓練を紹介します。皆さんも、災害に備え、地区の防災活動等に積極的に参加しましょう。

▼生名地区5分団自主防災会 (生名地区)



緊急避難場所での長期滞在を想定し、テント設置や炊出し訓練などを行いました。

▼久保の谷・中の谷自主防災会 (生名地区)



避難開始からの動きを具体的に想定し、避難できていないお宅への訪問確認、避難後の活動の役割分担、各種資機材の組立て・動作確認等を行いました。

▼北地区防災を考える会 (岩城地区)



救命講習や炊出し、起震車の体験や非常持出し袋の展示等を行い、たくさんの方が参加されました。

シェイクアウトえひめについて

12月17日(木)、愛媛県全域で「シェイクアウトえひめ」が行われました。「シェイクアウトえひめ」とは、地震を想定して、参加者が一斉に身を守る行動をとる、誰でも気軽に参加できる防災訓練です。上島町でも、学校や保育所、社会福祉協議会等の団体が訓練に参加しました。



火災・救急・救助は



119 消防だより



令和2年12月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R2累計
火災	0	0	0	0	0	0	2
救急	18	5	4	2	1	30	401

(令和2年12月31日現在)

上島町消防署 ☎77-4118

令和2年度全国統一防火標語

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

春季全国火災予防運動の実施について

3月1日から7日にかけて、全国一斉に令和3年春季火災予防運動が実施されます。冬場は、空気が乾燥し、これからは季節風が吹くなど、火災が発生しやすい気象条件となるため、全国的にも焚き火による火災が多くなる季節です。

上島町における令和元年より過去10年間の出火件数は37件となっており、焚き火による出火件数が16件と最も多くなっています。十分注意していても、焚き火により火災が発生する恐れがありますので、焚き火を行う場合は、下記のことにご注意し、火災を防止しましょう。



住宅の寝室には、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。火災発生時の逃げ遅れを防ぐために、まだ設置していない方は、早速に設置をお願いします。

焚き火をする場合の注意事項

- ・事前に必ず消防署へ連絡する。
- ・強風時や乾燥注意報発令時は行わない。
- ・家庭ごみの焼却は行わない。
- ・すぐ消火できるように水バケツ等消火用具を準備する。
- ・周囲に燃えやすい物がある場所では行わない。
- ・火の粉が飛ばないように少しずつ燃やす。
- ・焚き火をしている時は、その場から離れない。
- ・焼却が終わったら、再燃しないよう水を使って確実に消火する。



間伐による園内環境改善

密植園では、受光環境が悪く、果実の着色や品質が劣り、農薬が十分にかかりにくく病虫害被害が多くなるなどの弊害がでてきます。隣接樹の枝が交差して通りにくくなったから間伐・縮伐の目安です。また、老木、混植園では、作業性が悪く、農薬飛散などの問題もあるため間伐に合わせて改植などによ

間伐・縮伐



剪定の目的は、①作業しやすく、②毎年安定して、③品質の良い果実がなる樹にすることです。摘果と並んで大切な作業なので、必ず毎年行ってください。

る園地の若返りや品種の統一を図りましょう。縮伐・間伐によりその年の収量は一時的に減りますが、2〜3年で回復します。作業性もよくなり、樹によく光があたるようになることで果実品質の向上が期待できます。

整枝・剪定

整枝・剪定は、花と新梢のバランスの取れた連年結実する樹を目指します。また、高品質な果実を生産するため樹冠内部にまで光が入るよう受光環境の改善を図るためにを行います。理想の樹は、主枝は3本程度、樹高は2〜2.5mまでに抑えます。高木になると作業性が悪く、収穫にも三脚などが必要になり高齢者

には危険をとまぬいます。いきなり樹高を下げると樹勢低下や樹が暴れて樹形が乱れてしまうので、2〜3年かけて少しずつ(30〜50cm位)計画的に低くしましょう。

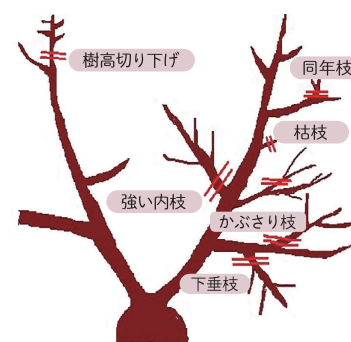
1 剪定

まず、主枝の整理(3〜4本)、内側を向いている枝、下に垂れる枝、かぶさり枝を基部から間引き骨格を作ります。前年が真年樹では、結果母枝(花が付く枝)が多く剪定が行いやすい年なので、邪魔な枝を除き作業性のよい樹を作りましょう。管理機を通すため低い位置の垂主枝等(横枝)を切る人もいます(樹勢維持には大事にした枝です)。

2 整枝

樹形の骨格ができたら、垂主枝から上に伸びる立枝や込み合った枝を間引いたり、予備枝設定のための切り返しをします。毎年、剪定が間に合わないといった園では、まずノコ剪

整枝のイメージ



定で太枝を間引き、時間があれば花が確認できる時期までにハサミ剪定を行ってください。

イ中晩柑

ア温州みかん
●昨年、着果が少なかった樹では、着花が多く新梢の発生が少ないことが予想されます。そのため、着花を制限し新梢を発生させる間引き剪定や切り返しによる予備枝剪定を組み合わせで行いましょう。
●昨年、着果が多かった園では、今年は着花が少ない傾向となります。剪定はなるべく遅く行い、蕾が確認できてから間引き剪定主体で